

過去の洪水調節実績

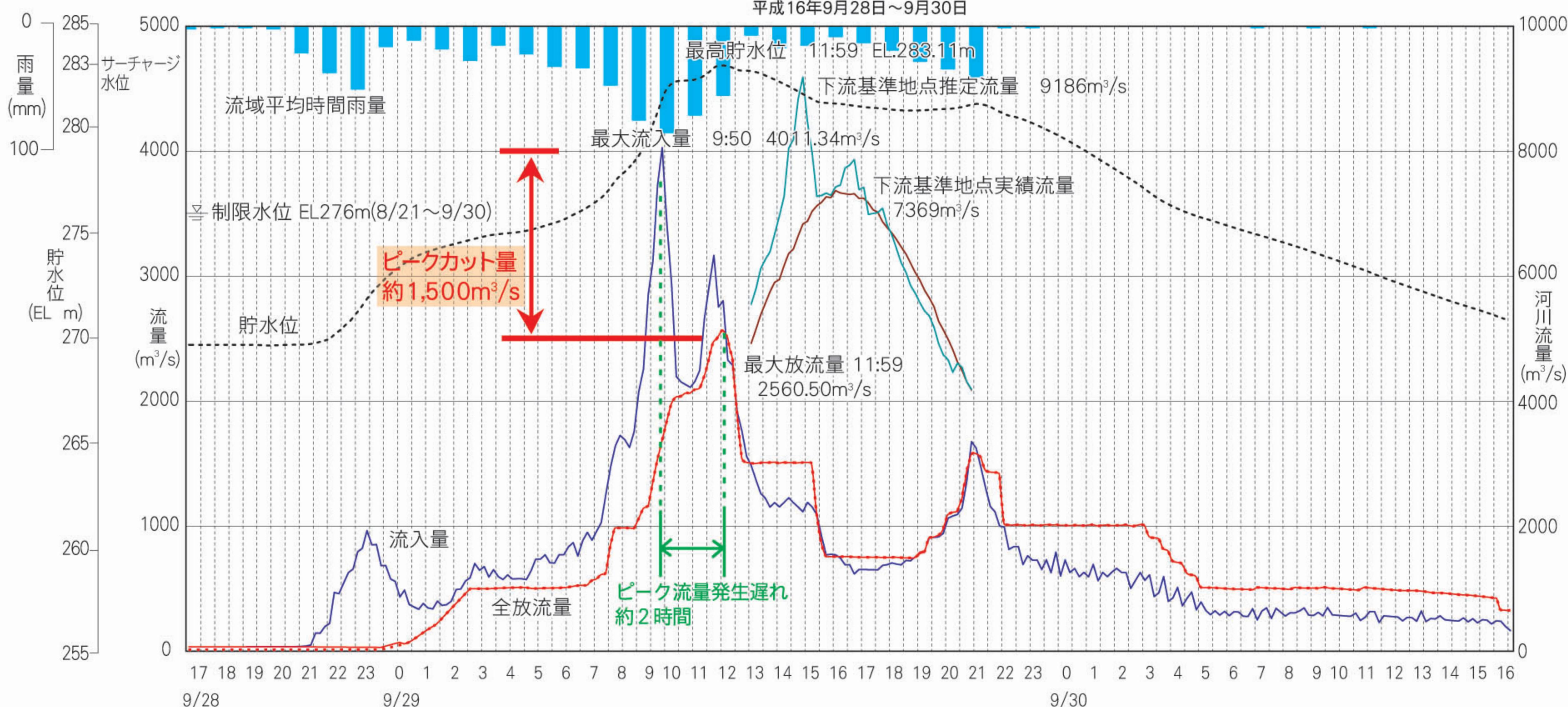
平成16年9月 台風21号

平成16年9月28日に来襲した台風21号の影響により、宮川ダムでは計画洪水量 $2,500\text{m}^3/\text{s}$ （当時）を大幅に上回る $4,011\text{m}^3/\text{s}$ の流入量を記録しました。この降雨による出水において、下図のとおり最大放流量 $2,561\text{m}^3/\text{s}$ とする洪水調節を実施し、約2,530万立方メートル（ナゴヤドーム[125万立方メートル]約20杯分）の水をダムに貯留しました。この宮川ダムの洪水調節操作により、下流の岩出（玉城町）地点において最大約1.4メートルの水位低減効果があったと推定しています。

また、洪水量のピーク発生時間から約2時間後にダム放流量のピークを発生させたため、避難等の時間を確保するという面でも効果を発揮しました。

宮川ダム洪水調節記録図（原因：台風 第21号）

平成16年9月28日～9月30日



ダム直下



放流状況

台風21号来襲時の放流状況



貯水池

平成16年台風21号後に変更した操作内容

計画規模を大幅に上回る洪水が発生した事を受け、より大規模な洪水に対して効果的なダムの運用ができるように宮川ダムの操作方法を下記のように変更しました。

1. 事前放流

発電容量の一部を事前に放流することにより、洪水調節のための容量を一時的に増やす操作の運用を開始しました。（平成17年8月1日）

2. 操作規則

洪水量を $500\text{m}^3/\text{s}$ から $600\text{m}^3/\text{s}$ へ見直すなど大規模洪水に対してより効果的なダムの運用ができるように操作規則の変更をおこないました。（平成19年7月14日）